

議会だより



おおたわら市

“題字は引地達雄議長”

平成28年 2月1日

No. 174



那珂川河川敷で行われた黒羽どんと祭



縁起物のお飾りと与一くん(大田原花市)

目次

第4回市議会臨時会概要	2
第5回市議会定例会概要	2
議案等と結果	3～4
一般質問	5～12
協議会及び委員会の内容	13
正副議長立候補者所信表明演説ほか	14
議会日誌ほか	15
傍聴者の声	16

平成27年
第4回
市議会臨時会

平成 27 年 第 4 回市議会臨時会が
10 月 15 日(木)に開催されました。

この臨時会では、市長から提出
された案件は、平成 27 年度大田原
市一般会計補正予算(第 3 号) 1 件
でありました。

この補正予算については、市庁
舎復興再整備事業費に、東京オリ
ンピック関連事業などの建築需要
の増加に伴う建設関連経費の高騰
による事業費の増額を抑えるた
め、整備期間を短縮する事業手法
の実施に必要な経費(新庁舎整備
に伴うアドバイザリー業務委託
に係る経費)と、台風により被災
した佐久山運動公園の復旧費に
ついて補正措置を講じるもので
あります。

補正額は 3,850 万円となり、
歳入歳出予算の総額を歳入歳出
それぞれ 33.8 億 7,980 万円と
するものであります。

平成27年第4回大田原市議会臨時会 審議された議案と結果

議案番号	議案件名	結果
議案第91号	平成27年度大田原市一般会計補正予算(第3号)(補正金額:3,850万円)	原案可決 (全会一致)

平成27年
第5回
市議会定例会

指定管理者を指定

平成 27 年 第 5 回市議会定例会
(12 月定例会)は、去る 12 月 7 日
(月)から 18 日(金)までの 12 日間を
会期として開かれました。本定例
会は、大田原市議会議員の改選後
最初の定例会で、初日には正副議長
など議会人事に関する選挙が行わ
れました。(詳細は、議会だより
1 月 1 日号に掲載してあります。)

本定例会に市長から提出された
案件は、報告案件や条例改正など
計 25 件が提出され、議会からは議員
定数等に関する特別委員会の設置
に関する議員案 1 件が上程されま
した。

主な議案としては、道の駅那須
与一の郷の指定管理者の指定議案
や平成 27 年度大田原市一般会計補
正予算(第 4 号)でありました。

道の駅那須与一の郷の指定管理
者の指定については、本年 4 月
1 日以降の同施設の指定管理者を
指定するものでありますが、指定
管理候補者の登記上の不備など疑
義を抱く点が指摘されたことから、
委員会審査においては関係者の出
席を求め、説明を受け審議を行
いました。委員会審査後の本会議で
は、反対及び賛成討論がそれぞれ
行われましたが、賛成多数により
原案を可とすることに決しました。
また、一般会計補正予算(第 4
号)については、昨年 4 月から開
始された「子ども子育て支援新制
度」に伴う保育園等関連経費など
について補正措置を講じたもので
あります。これらを含め、今定例
会に上程された議案等は全て原案
の通り可決されました。

議案詳細と 3 日間で 16 人の議員が
行った一般質問については 3 ページ
以降をご覧ください。

議案番号	議案件名	結 果
選挙第2号	議長の選挙について(引地達雄議員)	当 選
選挙第3号	副議長の選挙について(黒沢昭治議員)	当 選
選挙第4号	那須地区広域行政事務組合議会議員の選挙について(高崎和夫議員・藤田紀夫議員・引地達雄議員)	当 選
選挙第5号	那須地区消防組合議会議員の選挙について(引地達雄議員・黒沢昭治議員・君島孝明議員)	当 選
報告第14号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
議案第92号	大田原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(高信榮治氏・再任)	同 意 (全会一致)
議案第93号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(坂和純子氏・新任)	推薦することに異議なし (全会一致)
議案第94号	大田原市民間事業者等が行う書面等の保存等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について(情報通信技術を利用する方法により書面等の保存等ができるようにするための共通事項を定めるもの)	原案可決 (全会一致)
議案第95号	大田原市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について(大田原市障害児保育審査会の名称及びその担当事務を変更する改正)	原案可決 (全会一致)
議案第96号	大田原市特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(新たな職の新設及び障害児保育審査会委員の名称変更に伴う改正)	原案可決 (全会一致)
議案第97号	大田原市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について(納付書等に法人番号を記載しないこととするための改正)	原案可決 (全会一致)
議案第98号	大田原市火葬場条例の一部を改正する条例の制定について(火葬場使用料に関して、本市、那須塩原市及び那須町の3市町の区域以外の区分を追加し、その区分の使用料の額を引き上げるための改正)	原案可決 (賛成多数)
議案第99号	大田原市道の駅那須与一の郷の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(道の駅に電気自動車用急速充電器を設置することに伴う改正)	原案可決 (全会一致)
議案第100号	大田原市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について(道路法などの改正に伴う改正)	原案可決 (賛成多数)
議案第101号	大田原市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について(道路占用料条例の一部改正に伴い、法定外公共物にかかる使用料を市道に準ずるものとするための改正)	原案可決 (全会一致)
議案第102号	大田原市東日本大震災復興推進基金条例を廃止する条例の制定について(本基金の充当対象事業が本年度をもって、その計画期間が終了するため)	原案可決 (賛成多数)
議案第103号	大田原市子ども未来館の指定管理者の指定について(株式会社大田原まちづくりカンパニーを指定)	原案可決 (賛成多数)
議案第104号	道の駅那須与一の郷の指定管理者の指定について(株式会社八百屋蔵人を指定)	原案可決 (賛成多数)
議案第105号	大田原市水遊園直売所の指定管理者の指定について(特定非営利活動法人キャリアコーチを指定)	原案可決 (賛成多数)
議案第106号	大田原市交流促進センター若杉山荘の指定管理者の指定について(特定非営利活動法人キャリアコーチを指定)	原案可決 (賛成多数)
議案第107号	大田原市郷土資料館くらしの館及び大田原市黒羽ふるさと物産センターの指定管理者の指定について(黒羽ふるさと物産センター組合を指定)	原案可決 (賛成多数)

議案番号	議案件名	結 果
議案第108号	大田原市湯津上温泉やすらぎの湯及び大田原市総合交流ターミナルセンター黒羽温泉五峰の湯の指定管理者の指定について(有限会社魚鶴を指定)	原案可決 (賛成多数)
議案第109号	那須野が原ハートホール指定管理者の指定について(公益財団法人那須野が原文化振興財団を指定)	原案可決 (賛成多数)
議案第110号	物品の取得について(大田原小学校の新給食室用厨房機器及び備品を購入するもの)	原案可決 (全会一致)
議案第111号	平成27年度大田原市一般会計補正予算(第4号) (補正金額: 6億 9,010 万円)	原案可決 (賛成多数)
議案第112号	平成27年度大田原市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号) (補正金額: 1億 8,080 万円)	原案可決 (賛成多数)
議案第113号	平成27年度大田原市介護保険特別会計補正予算(第3号) (補正金額: 3,780 万円)	原案可決 (賛成多数)
議案第114号	平成27年度大田原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) (補正金額: 763 万 8 千円)	原案可決 (賛成多数)
追加議案第3号	大田原市監査委員の選任につき同意を求めることについて (藤田紀夫議員)	同 意 (全会一致)
議員案第8号	大田原市議会議員定数等に関する特別委員会の設置について	原案可決 (賛成多数)

平成27年第5回市議会定例会における表決状況一覧(賛否が分かれた議案)

議案	秋山	印南	星	鈴木	滝田	弓座	櫻井	高木	高瀬	菊池	深澤	中川	大豆生田	小池	藤田	君島	前野	高野	黒澤	引地	本澤	小野	千保	高崎	小林	前田
案	幸子	典子	雅人	央	一郎	秀之	潤一郎	雄大	重嗣	久光	賢市	雅之	春美	利雄	紀夫	孝明	良三	礼子	昭治	達雄	節子	尚武	一夫	和夫	正勝	一郎
火葬場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
道路占用料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
東日本大震災復興推進基金条例廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
子ども未来館の指定管理者	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
道の駅那須与一の郷の指定管理者	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	×	×	×	○	○	○
水遊園直売所の指定管理者	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
交流促進センター若杉山荘の指定管理者	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
くらしの館及び黒羽ふるさと物産センターの指定管理者	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
やすらぎの湯及び五峰の湯の指定管理者	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
那須野が原ハートホールの指定管理者	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
市議会議員定数等の特別委員会設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○

(○:賛成 ×:反対 退:退席 ※引地達雄議長は採決に原則加わりません)



大豆生田 春美 議員

「赤ちゃんの駅」
設置について

「赤ちゃんの駅」は、乳幼児を育てる父母らが外出時に授乳ができる場所やおむつ替えをする場所を自治体が認定し、その周知に努めることで、子育て

家庭の外出を支援するもの
あります。
現在、公共施設や市関係施設
では、施設内におむつ交換台
が設置されている場所もあり
ます。しかし、各種イベント会
場
で、おむつ交換台が設置され
た
施設がない場合、保護者の方は
不便に感じる場合もあると
思われます。イベント会場に、
折り畳み式おむつ交換台や授
乳スペースを確保した移動可

家庭の外出を支援するもの
あります。
現在、公共施設や市関係施設
では、施設内におむつ交換台
が設置されている場所もあり
ます。しかし、各種イベント会
場
で、おむつ交換台が設置され
た
施設がない場合、保護者の方は
不便に感じる場合もあると
思われます。イベント会場に、
折り畳み式おむつ交換台や授
乳スペースを確保した移動可

能なテントを赤ちゃんの駅とし
て設置すれば、心配なく参加で
きるものと考えています。
安心して外出できる環境を
整備することは、子育てを支援
する上で有効であると認識して
いますので、導入については、他
市の状況等を参考に効果的な
活用について研究を進めていき
ます。



星 雅人 議員

警報・注意報等発表時の
市の対応について

市民への災害情報の発信を
自動で行うシステムを導入し
てはどうかと考えるが、市の
考えを伺います。
現在の災害情報の発信状況
については、大雨警報等の気象
情報、土砂災害警戒情報、震度
4以上の地震情報、ダム放流等
の河川情報を発信しています。

これらの情報は警報等が発表
されたときに、その都度手入力
し、安全安心メールの登録者に
発信しています。
現行の安全安心メールシス
テムについては、現在進めてい
る市のイベント情報なども配信
でき、市役所内のすべての部課
等で使える新たなメール配信
システムに移行することになり
ます。

新システムにおいては、気象
注意報及び警報、震度4以上
の地震、竜巻等の発表と連動し
て受信希望者に自動発信する
システムを構築中であり、平成
28年2月頃から運用を開始する
予定です。



小池 利雄 議員

防災対策について

質問(小池利雄 議員)
大田原市地域防災計画に基づき避難所用トイレの設置状況について伺います。
答弁(総合政策部長)
避難所用トイレの設置状況については、平成19年度に購入した簡易便座式トイレが15基と今年度購入した6基を含め21基あり、5160回相当分の排泄物凝固剤を備蓄してい

ます。また、中央多目的公園にマンホールトイレが14基あり、合計で35基の仮設トイレが災害時に対応可能となります。
地域防災計画における避難所のトイレについては、必要な配備基数は39基と想定していることから、平成28年度以降も計画的に備蓄していきます。
本年度購入した簡易便座式トイレは、排泄物を防臭フィル

ムと凝固剤を使用し、電動で1回毎にラッピングするため臭気が少なく衛生的であり、現在の日常生活に近い形での使用ができる点で従来の備蓄品に比べ機能が向上していることから、従来品からの切り替えを含め優先して備蓄していく考えです。



菊池 久光 議員

消防サイレンの吹鳴について

質問(菊池久光 議員)
有事の際の消防サイレン吹鳴の今後の対応について伺います。
答弁(総合政策部長)
消防救急無線については、電波法関係基準の改正により、平成28年6月1日からデジタル方式に移行することになっており、那須地区消防組合の設立と同時にデジタル化しました

が、消防サイレンについてはアナログ式の無線サイレン吹鳴装置のため、使用出来なくなっております。
有事の際には、災害情報メールの配信及び手動による吹鳴で対応しています。また、消防団員の方々には、消防指令センターより、火災発生場所の地図情報を含んだ災害情報メールを配信しています。

無線サイレン吹鳴システム、メール配信によるサイレン吹鳴システム及び市町村防災無線システムを使つての同報無線システムによる吹鳴などの方法については、費用対効果及び他市町の状況を含め、消防団幹部の意見を伺いながら研究していきます。



本澤 節子 議員

「暴力いじめゼロ大田原市宣言」で子どもを守る取り組みについて

質問（本澤節子 議員）
 こどものいじめを原因とした自殺者を出さないため、大人世代の力を合わせた 市民の命を大切に宣言について伺います。

答弁（保健福祉部長）
 子供の自殺者は、平成27年度版自殺対策白書によると全国で866人おり、小中学生の自殺の原因は、いじめもあります

が家庭生活によるものが多く、学校、家庭、地域が連携して対策にあたるのが重要です。

本市では平成27年3月に「大田原市いじめ防止基本方針」を策定し、各方面と連携し対策にあたっています。子供をはじめ市民すべての命が大切にされるためには、自分自身の存在を肯定する気持ち、また、自分とは違った人格の他者の存在を認

める気持ちを養うことが大切です。これらの思想の啓発と誰もが自殺に追い込まれることの無い社会を目指して、「いのちを大切に」する大田原市宣言を行うことは有意義なことであると考

えます。学校、家庭、職場等各方面での状況を調査し研究していきます。



高瀬 重嗣 議員

植竹教育長の教育に対する基本姿勢について

質問（高瀬重嗣 議員）
 指導者の人材育成について伺います。

答弁（教育長）
 「教育は人なり」
 良き指導者がいると、その部活動は強くなり、その学校は良くなり、学力も上がると言われています。良き師のもとに良き生徒は育つと私は考えます。そのためには、人材育成の

リーダーシップを各学校の校長先生、教頭先生に発揮してもらわなければなりません。私も初任者の頃の校長先生に育てていただいたことが、教員生活の土台となりました。

校長先生、教頭先生には、「指導力には個性があります。努力と工夫次第でそれぞれの教員が優秀な指導者になれるはずです。教師を伸ばすのは校長

先生・教頭先生次第です。あの校長先生に仕えたいという思いをもたせてください。どのような子どもを育てたいのか、どのような学校にしたいのか、そのようなビジョンをもって、教員、児童・生徒の育成にあたってください。」このようにお願いいたします。



滝田 一郎 議員

学校図書室の電子化及び
少子高齢化社会と福祉に
対応した市立図書館について



高木 雄大 議員

選挙権年齢の引き
下げについて

質問(高木雄大議員)

投票率向上のための本市の
考えを伺います。

答弁(選挙管理委員会事務局長)

全国的に若年層の投票率の
低さが目立ち、社会的問題にも
なっておりますが、これまで
利用の少なかった市内小中学
校に対する投票箱等の器材の
貸出について周知したところ、
3つの中学校で利用され、さら

に2校での利用が予定されてい
ます。今後も、実際の選挙に近い
形で体験できるように投票用
紙等の資材の整備やマニュアル
の作成を行い、小中学生に選挙
に対する関心を深める啓発を
していきます。

また、これまで20歳到達者に
対しパンフレット等を送付し
啓発を図ってきましたが、今後
は、18歳及び19歳の方々にも同

システムのパフォーマンスを向上させ、
電子図書館、インターネットで
の蔵書検索や予約サービスな
どを実施しています。

質問(滝田一郎議員)

市立図書館の図書管理シス
テムを中核とした学校図書室
の電子化による管理システムの
構築について伺います。

答弁(教育部長)

市立図書館については、大田
原、湯津上、黒羽の3館をネッ
トワークで結び、業務の合理
化・効率化に努めています。大田
原図書館の移転後、図書館管理

学校図書館支援も市立図書
館の行う業務の一つとなってい
ますが、学校図書館の現状は
ICT化されておらず、29校に
配置されている14名の学校図
書館活性化推進員が、個人の
パソコンやスマートフォンを利

様の啓発を行っていくとともに、
18歳は高校3年生に該当しま
すので、高等学校とも連携し新
たな施策を模索していきたいと
考えています。さらに、市のホーム
ページやフェイスブックを活用
し若年層への情報提供を行いな
がら、大学や商業施設等への期
日前投票所の設置を進めていき
たいと考えています。

用して市立図書館に本の予約を
行っている状況です。
今後の課題は、各学校の図書館
にパソコンを配置するとともに、
蔵書管理システムを導入し、図書
のデータベース化を進めていく
ことが第一と考えており、ネット
ワーク化については、今後の
財政状況を鑑みて進めていき
ます。



印南 典子 議員

学童保育について

質問(印南典子 議員)
 高学年の受け入れが出来ていない学童への働きかけ、大規模学童保育館の分割を進めることについて伺います。

答弁(市長)
 市内では、美原第1学童保育館、紫塚学童保育館を除き4年生から6年生までの高学年を受け入れています。
 美原第1学童保育館では、西原小学校区の児童を受け入れ

ています。西原小学校区には、わくわく学童保育館など他の学童保育館や、新たに民設民営の学童保育館が1館開館することから希望者を調整することに対応していきます。

紫塚学童保育館については、校舎新築に伴い、現在仮の場所での開館となっています。1単位40人での運営を行い、仕切り等を設けることで受入れは可能と思われませんが、校舎新築

後の平成29年度に旧音楽室を学童施設として再開する予定であることから、4年生以上の受入れに対応していきたいと考えています。

市では、中長期の学童保育施設整備計画を立てることを検討し、優先順位をつけ基準の支援の単位で保育ができるよう、学童保育の施設整備を進めていく考えです。



千保 一夫 議員

国民健康保険税は即刻大幅引き下げを実施すべきとの考えについて

質問(千保一夫 議員)
 平成22年度までの国民健康保険税水準に引き下げても財政運営は可能であると思うが考えを伺います。

答弁(市長)
 市としては保険税の収納率向上対策の強化や、医療費抑制策としての特定健康診査の推進強化を進め、やつと健全運営に戻したというのが実感です。

今後、さらに加速する高齢化の中で、医療費増は絶えず予断を許さない状況で、健全運営を目指すためにはある程度の留保財源が必要となります。さらに、県が国保運営の責任主体となり、市町村ごとの保険給付費を全額県から交付する代わりに、県が市町村ごとに国保事業の納付金や標準保険料率を算定する新制度が平成30年度に

迫っており、平成28年度後半には、県が暫定システムを稼働し、ある程度の金額を示すことになっていきますので、タイミングを見極める必要があります。

税率改定の時期については、毎年見直しをかけるということになると市民の不安感が増幅されてしまうため、少なくとも3年間のスパンをかけて見直す方針です。



中川 雅之 議員

環太平洋パートナーシップ協定(TPP)協定対策と本市の農業の推進について

本市における農産物のブランド化を推進する取り組みとしては、株式会社大田原ツーリズムをはじめとした6次産業化を推進する団体や、ブラン

ド化に取り組む農業者等と連携し、新商品の企画・開発等を行っています。6次産業化への取り組み状況としては、市内において4つの経営体が行っているほか、多くの農業者等が自家産農産物を加工し、農産物直売所等での販売にとどまらず、独自の販売ルートの開拓を行っています。

また、本市は認定を受けた農業者等が「6次産業化交付金施設整備事業」をいち早く活用することで、6次産業化に取り組む農業者等の施設整備に対する支援を行っています。

質問(中川雅之議員)
地域資源を活用した農産物のブランド化及び6次産業化の推進について本市の取り組みと今後の考えについて伺います。

質問(高野礼子議員)
難聴者に対するバリアフリーの考えについて伺います。

難聴者は補聴器を使用している場合でもホール等の広いスペースでは、様々な音が耳に入り必要な音を正確に聞き分けることが困難と言われています。その解決方法として補聴援助機器がありますが、那須野



高野 礼子 議員

那須野が原ハーモニークホールについて

難聴者は補聴器を使用している場合でもホール等の広いスペースでは、様々な音が耳に入り必要な音を正確に聞き分けることが困難と言われています。その解決方法として補聴援助機器がありますが、那須野

同ホールは、大田原市と那須

塩原市の共同施設となっており、予算や修繕等は毎年両市による管理運営検討委員会において優先順位を決め実行しています。

質問(高野礼子議員)
難聴者に対するバリアフリーの考えについて伺います。

質問(高野礼子議員)
難聴者に対するバリアフリーの必要性は理解していますが、内容やニーズを検討し、決められた予算の中で優先順位の高いものから進めていく考えです。

また、本市は認定を受けた



小野寺 尚武 議員

新庁舎建設について

設計受託者については、副市長を会長として外部委員を含め6名で構成される「大田原市新庁舎基本設計業務プロポーザル審査会」を7月から3回開

催し、審査の結果、プロポーザル参加者の中から株式会社久米設計を第1順位契約候補者と決定しました。これらの経過は、プロポーザル実施要項、審査要領も含め、市ホームページで公表しています。

その後、平成27年10月に同社と新庁舎基本設計業務に係る委託契約を締結し、平成27年7月に策定した大田原市庁舎復興再整備基本計画をもとに、

現在の進捗状況について伺います。
質問(小野寺尚武議員)
新庁舎整備の状況については、現在、基本設計に着手しています。

土地利用や庁舎位置のレイアウト、フロア構成等を検討する作業を行っています。併せて地積測量業務のほか、ボーリングによる地盤調査、庁舎内に配置する事務機器や保管書類の数量、保管機材等の収納量調査等を行っており、平成28年3月末に基本設計業務を完了する見込みです。



鈴木 央 議員

大田原屋台まつりについて

屋台会館の整備を含め、屋台まつりの今後の方針について伺います。
質問(鈴木央議員)
屋台会館の整備については、城山地区屋台会館等整備事業として中心市街地活性化基本計画の中に盛り込まれた事業で、城山地区の街路事業後の宅地の整備改善を図りながらまちづくりを推進しようとする

るものです。しかし、東日本大震災の影響により、計画期間内の事業着手には至りませんでした。今後は、基本計画の事業内容を検証しながら最善策を考えていきます。

また、今後の方針については、伝統は守るべきものと改革の両面からの視点が必要ですが、なによりも継承すべき担い手の育成が大切です。平成26年度においては、お囃子の団体等に対しては、歴史上、芸術上重要なものは市指定に向けた取り組みを進め、祭り全体の価値観向上につなげていく考えです。



執問者席

深澤 賢市 議員

黒羽中学校屋内
温水プールについて

質問（深澤賢市議員）
学校施設などに関しては、耐震補強設計を施さなければならぬと指示されていたはずですが、何故、地震後に補強工事をしなければならぬのか、この間の経緯について伺います。

答弁（教育部長）

黒羽中学校屋内温水プールは、平成20年度に当時の建築基準法の耐震基準に基づいた実施設計を行い、平成22年度に完成しました。その後、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、体育館や屋内プールなどの運動施設において、天井材が落下するなどの被害が多く発生したことを受け、建築基準法施行令が一部改正されました。

人が日常立ち入る場所で、天井の高さが6メートルを超える部分の面積が200平米を超え、重さが1平米あたり2キロを超える吊り天井は、特定天井として位置付けられ、脱落によつて重大な危害を生じるおそれがあるため、落下防止措置の義務付けがなされました。

現在の黒羽中学校屋内温水プールがこの特定天井に該当するため、天井の改修工事を実施しています。



執問者席

秋山 幸子 議員

国際医療福祉大学行きの
バスダイヤについて

質問（秋山幸子議員）
国際医療福祉大学の学生が、午前9時からの授業開始にゆとりを持って行けるように、市営バスの増発やダイヤ改定を行う考えがあるか伺います。

答弁（市民生活部長）

国際医療福祉大学の学生が乗車するバス路線については、市営バスの那須塩原駅線と東野バスの西那須野駅・五峰の湯線及び大学によるスクールバスの3系統が運行しています。市営バスに関しては、毎年4月、新入生の通学による乗車場所や人数の変化に対応するため、朝の乗車状況を市内3、4か所のバス停において調査を行い、人数に合わせて増発便を出すなどの対応をしている状況です。

また、那須塩原駅線のバスのダイヤについては、通勤や通学の足として、駅の電車到着時刻に合わせて設定していますので、他の通勤者等の利用状況を調査し、大学と連絡調整を行いながら、情報を共有してスクールバスと公共交通との融和と、利便性の向上を図っていきたくと考えています。

協議会及び委員会の内容 《10月～12月》

全員協議会

10月15日

(報告事項)

- 1 埼玉県草加市との「災害時における相互応援に関する協定書」の締結について
- 2 公募による認可保育園等設置運営法人の決定について
- 3 認知症はいかい声かけ訓練の実施について
- 4 議会基本条例策定等検討委員会報告について
- 5 那須地区消防組合臨時議会報告について
- 6 議員親和会の決算報告について
- 7 タブレットPCの返却について
- 8 第17期議員へのタブレットPCの貸与について
- 9 一般選挙後の初議会等日程について
- 10 12月定例会における質疑及び討論の取扱いについて

11月18日

(新議員ごめり)

(協議事項)

- 1 大田原市議会会派について
- 2 議席について
- 3 正副議長の選挙について
- 4 常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任について
- 5 議員が就任する一部事務組合議会議員の選出について
- 6 広報広聴委員会委員の選出について
- 7 一般質問について
- 8 議員親和会の結成について
- 1 (その他)
- 2 全員協議会及び席順について
- 3 会派代表者会議について
- 4 懇親会の開催について
- 5 議員の電話番号の取扱いについて

12月18日

(報告事項)

- 1 大田原市人口ビジョン及び大田原市未来創造戦略について
- 2 大田原市子ども未来館への「Pepper(ペッパー)」の設置について
- 3 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン(平成27年度改訂版)について
- 4 大田原市中期財政計画(平成28年度～32年度)について
- 5 ごみステーションにおける鳥獣(カラス)対策実証実験に関する最終報告について
- 6 品川台工業団地への企業誘致(拡張)について
- 7 西原小学校再編整備に関する地区説明会の実施状況報告について

(協議事項)

- 1 大田原市表彰審査委員会委員について
- 2 那須地区議員交流会幹事について
- 3 大田原市都市計画審議会委員について

総務常任委員会

12月7日

1 正副委員長の互選

12月15日

1 付託議案の審査

民生常任委員会

12月7日

1 正副委員長の互選

12月15日

1 付託議案の審査

建設産業常任委員会

12月7日

1 正副委員長の互選

12月16日

1 付託議案の審査

12月17日

1 付託議案の審査

文教常任委員会

12月7日

1 正副委員長の互選

12月16日

1 付託議案の審査

議会運営委員会

10月8日

1 平成27年第4回市議会臨時会の運営について

10月15日

1 12月定例会における質疑又は討論の取扱いについて

12月7日

1 平成27年第5回市議会定例会の運営について

12月8日

1 追加議案について

12月18日

1 議員案について

議会広報広聴委員会

10月15日

1 議会だよりの発行について

12月14日

1 議会だよりの協議

12月18日

1 議会だよりの協議

正副議長立候補所信表明演説会を実施

市議会は12月定例会において、初の試みとなる正副議長立候補者の所信表明演説会を実施いたしました。

この演説会は、議会基本条例の規定に基づき、市民に開かれた議会を実現するため、議長及び副議長の選出過程を透明化することを目的として、選挙の前の休憩中に、それぞれの立候補者が所信表明を行うものであります。今回の演説会においては、議長に2名、副議長に1名が立候補の届け出があり、演説を行いました。

各立候補者からは、議会改革の推進、議会活動の充実、政策立案の強化、これまでの経験を活かしていくこと、市民から信頼に応え

る議会にすること等についての演説があり、他の議員からは所信表明に対する質疑も行われました。今後とも開かれた議会運営に努めてまいります。



演説の様子

大田原市議会議員定数等に関する特別委員会

12月議会において、大田原市議会議員定数等に関する特別委員会を設置しました。

議員自らが地方議会の現状を鑑み、一層市民の付託に応えるため議会体制づくりを進めるとともに、大田原市の市勢に合致する適正な議会とするため、議員定数、常任委員会数、政務活動費及び議員報酬の4項目について、他の議会と本市議会を照らし合わせながら、調査・検討をしてまいります。

委員長 黒澤 昭治
副委員長 高崎 和夫
委員 滝田 一郎
小池 利雄
君島 孝明
前野 良三
高野 礼子

(7名)

初当選議員等研修会

議会改選により初当選された議員など7名による議員研修会が、平成27年11月17日から20日にかけて実施されました。初日の議会関係の研修では、議会の概要の説明、議員としての在り方、タブレットの操作方法などの研修を受けました。

2日目以降の執行部関係の研修会では、所管事務事業の概要等について、それぞれ担当部署の部長及び課長より説明を受けました。それに対して各議員からも質疑があり、議員それぞれが市の事務事業の再確認と概要の把握がなされ、今後の議会活動の一助になるものと思われれます。



研修の様子

議会日誌

10月



- 2日 ○那須地区議員交流会
- 6日 ○那珂川町議会行政視察受入
- 7日 ○上越市議会行政視察受入
- 8日 ○議会運営委員会
- 9日 ○那須地区消防組合議会
- 15日 ○平成27年第4回市議会臨時会招集(本会議)

11月



- 10日 ○狭山市議会行政視察受入
- 22日 ○栃木県市議会議長会議
- 26日 ○那珂川町議会行政視察受入
- 27日 ○大月市議会行政視察受入
- 28日 ○那須地区消防組合議会
- 29日 ○静岡市議会行政視察受入
- 29日 ○山武市議会行政視察受入
- 29日 ○那須地区広域行政事務組合議会
- 22日 ○議会運営委員会
- 22日 ○全員協議会
- 22日 ○広報広聴委員会

12月



- 17日 ○初当選議員等研修会(20日まで)
- 18日 ○全員協議会
- 24日 ○県北5市議長会議

- 7日 ○平成27年第5回市議会定例会招集(本会議)
- 8日 ○各常任委員会
- 8日 ○議会運営委員会
- 8日 ○各常任委員会
- 10日 ○本会議(一般質問)
- 11日 ○本会議(一般質問)
- 14日 ○本会議(一般質問)
- 15日 ○広報広聴委員会
- 15日 ○総務常任委員会
- 16日 ○民生常任委員会
- 16日 ○建設産業常任委員会
- 17日 ○文教常任委員会
- 17日 ○建設産業常任委員会
- 18日 ○本会議(議決)
- 24日 ○議会運営委員会
- 24日 ○全員協議会
- 24日 ○広報広聴委員会
- 24日 ○那須地区広域行政事務組合議会

市議会ではインターネットによる生中継をしております

- アクセス方法 ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。
- 大田原市ホームページ <http://www.city.ohtawara.tochigi.jp/>
- お問い合わせ先 大田原市議会事務局 ☎23-8714



平成28年 3月定例会 開催のお知らせ

会期(予定) 3月7日(月)~3月22日(火)

※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。



市議会HPは
11902745



質問通告者と質問事項

※2月下旬頃にホームページで会議録が公開されます。

星雅人議員

- ①選挙公報の取り扱いについて
- ②トコトコ大田原及びまちづくりカンパニーの運営について
- ③警報・注意報等発表時の市の対応について

大豆生田 春美 議員

- ①「赤ちゃん」の駅設置について
- ②発達障がい者の支援について

菊池 久光 議員

- ①消防サイレンの吹鳴について
- ②林業振興について

小池 利雄 議員

- ①タブレットパソコン教育について
- ②防災対策について

高瀬 重剛 議員

- ①植竹教育長の教育に対する基本姿勢について

本澤 節子 議員

- ①「暴力、いじめゼロ大田原市宣言」で子どもを守る取り組みについて
- ②選挙公報の公表について
- ③子どもの甲状腺がん検診の実施について
- ④広域クリーンセンター大田原の移転先用地の選定について
- ⑤ネオニコチノイド系農薬の危険性と散布禁止について
- ⑥非正規雇用の実態と正規雇用推進の取り組みについて
- ⑦農業の多様な可能性と農業を維持する兼業化の促進について

- ⑧「高齢者総合対策室」の設置について
- ⑨带状疱疹予防ワクチン（水ぼうそう予防ワクチン）接種推進と市の助成について
- ⑩子宮頸がんワクチン接種について

- ⑪黒羽支所、湯津上支所を地域総合支所にしていく構想について

高木 雄大 議員

- ①選挙権年齢の引き下げについて
- ②「大田原ブランド」について
- ③市営バスの運行について

滝田 一郎 議員

- ①大田原市の農畜産業を守る環太平洋パートナーシップ(TPP)協定の対策について
- ②学校図書室の電子化及び少子高齢化社会と福祉に対応した市立図書館について

千保 一夫 議員

- ①市政運営について
- ②学校給食費無料化の廃止について
- ③政策の一貫性について
- ④国際医療福祉大学の医学部誘致失敗について
- ⑤国民健康保険税は即刻大幅引き下げを実施すべきとの考えについて

印南 典子 議員

- ①学童保育について

- ②DV(家庭内暴力)対策プランについて

高野 礼子 議員

- ①那須野が原ハーモニーホールについて
- ②ふるさと納税について
- ③情報政策について
- ④町名の新設について

中川 雅之 議員

- ①環太平洋パートナーシップ(TPP)協定対策と本市の農業の推進について
- ②那須中央農業共済組合の移転新築に伴う教育環境整備について

鈴木 央 議員

- ①新規就農者支援制度について
- ②大田原屋台まつりについて

小野寺 尚武 議員

- ①財政状況と予算編成について
- ②新庁舎建設について
- ③国際医療福祉大学の成田市医学部新設について
- ④市民アンケートについて

秋山 幸子 議員

- ①平和安全法制等の整備と憲法の尊重について
- ②水道料金について
- ③国際医療福祉大学行きのバスダイヤについて
- ④指定ごみ袋について
- ⑤環太平洋パートナーシップ(TPP)協定について

深澤 賢一 議員

- ①黒羽中学校屋内温水プールについて
- ②大田原市の入札制度について
- ③寒井地区の廃校利用と福祉行政について



黒羽中学校 校長
高田 裕 さん

12月市議会を傍聴しました。市議会選挙後初の議会、また新教育長になってのとても新鮮な雰囲気で行われていました。今回は全体的に、市長や教育長の施政方針や自分自身の思いに対する基本的な考えが聞けたことにとても意義深さを感じました。質問の内容も、「すべては子どもたちの未来のために」という市長の思いに関する、子どもたちに関する質問が多かったように思います。学校に勤めているもので、とても興味深く拝聴することができました。

その中で、「暴力」いじめゼロ大田原市宣言で市としての取り組みについての質問が交わされました。心に抱える問題等で自ら命を絶つ痛ましい事件が後を絶たない今、大人の責任としてとて

大切なところに着目した質問でした。具体的には、子どもをいじめを原因とした自殺者を出さないために、大人世代の力を合わせた市民の命を大切にすることを宣言してみてはどうか、ということでした。話し合いの自身は行政としても前向きに考えていきたいとの内容でした。

しかし、この問題は、宣言をすること以上に大切なことがあります。それは、私たち大人が、もともと子どもたちもたちの心の内面に迫る接し方をし、学校や家庭の他にも、地域社会でも子どもたちの生活に関心を持つこと、見守ることが大切です。とても大きなことを感じさせられる傍聴でした。これからの議会や執行部のご活躍を期待したいと思います。